

教授会議事要録

1. 日 時 平成21年1月15日（木）15：08～16：15
2. 場 所 良陵会館大会議室
3. 出席者 福田所長ほか32名
4. 欠席者 2名

議事に先立ち、議長から、1月1日付けで就任した准教授の紹介があった。

5. 議 事

○ 議事要録の確認

平成20年12月11日（木）開催の教授会議事要録（案）を承認した。

○ 審議事項

(1) 加齢医学研究所の第二期中期目標・中期計画（案）について

副所長から、標記計画案について素案の段階であるが資料2のとおり作成したとの説明があり、種々意見交換を行った。

なお、議長から、教授会構成員に本案に対する意見を1月26日（月）まで副所長に提出するよう依頼しており、取りまとめについては、所長に一任願いたいとの提案があり、これを承認した。

(2) 共同利用・共同研究拠点申請について

議長から、資料3により、標記申請内容について説明があり、種々意見交換を行った。

なお、学内締切りは1月末までなので、さらに加筆修正等がある場合は所長申出願い、取りまとめについては、所長に一任願いたいとの提案があり、これを承認した。

(3) 教員人事について

議長から、資料4により、辞職について諮りこれを承認した。

(4) 癌化学療法研究分野准教授候補者選考委員会の設置について

議長から、平成21年2月1日付けで転任予定の、標記研究分野准教授の後任者を選考するため、加齢研教員選考内規第8条に基づき、「癌化学療法研究分野准教授候補者選考委員会」を設置したい旨諮り、これを承認した。

次いで、投票により、選考委員長（所長）及び当該研究分野担任の教授を除く選考委員に、教授2名、准教授1名を選出した。

(5) 平成20年度研究奨励賞受賞者の選考について

研究推進委員会委員長から、12月17日開催の研究推進委員会において、平成20年度研究奨励賞に推薦のあった候補者4名について審査した結果、2名を適任と認めた旨の報告があった。

次いで、議長から、研究推進委員会の審査に基づき平成20年度研究奨励賞受賞者

の選考について諮り、助教2名を受賞者に決定した。

(6) 研究生の入学について

議長から、資料5により、研究生の入学について諮りこれを承認した。

(7) その他

なし。

○ 報告事項

(1) 「東北大学昭和舎の碑（仮称）」 建立事業について

議長から、資料6により、昭和舎記念石碑事務局から依頼があった、昭和舎の碑（仮称） 建立事業について報告があり、これを了承した。

(2) 平成20年度部局評価結果について

議長から、資料6により、平成20年度部局評価結果について報告があった。

(3) 各種委員会報告

議長から、資料8-1により、部局長連絡会議・懇談会（12月16日（火）開催）等の主な審議内容について報告があった。

また、資料8-2により、平成21年度概算要求内示事項について報告があった。

□研究教育基盤技術センター運営専門委員報告

副所長から、大型の研究機器の整備については、大学としてのマスタープランを作成して概算要求することになっているが、これまで資料8-4のとおり計画されており、これまでの導入計画がほぼ順調に達成されつつあることから、従来のマスタープランを刷新し新たに策定することになり、各部局へ要望書（アンケート調査）の作成依頼することになったとの報告があった。

ついで、加齢研での要望書の作成を教授会構成員に依頼しているので、1月23日（金）まで、副所長に提出願いたいとの要請があった。

□生命科学研究科教授会報告

構成員の教授から、1月7日（水）開催の生命科学研究科教授で、生命科学研究科の平成20年度部局評価はSSであったこと、及び東北大学教員の任期に関する規程により任期が定められている助教の再任基準について審議したとの報告があった。

(4) 専任教授会報告

議長から、専任教授会（1月15日（木）開催）について、次の事項に関する報告があった。

① 加齢医学研究所「スマート・エイジング」国際共同研究センター構想について

② 教員の配置について

(5) 職員の兼業について

議長から、資料9により、職員の兼業について報告があった。

(6) 平成20年度寄附金（第3四半期）の受入れについて

議長から、資料10により、寄附金の受入れ状況について報告があった。

(7) その他

- ① 構成員の教授から、星陵地区 IT センター運営委員会で、EAST が本学の学術情報データベースと競合しているので、今後の運用について検討中であるとの報告があった。

また、現在 EAST の ID とパスワードは教員のみ配布しているが、情報共有化の観点から加齢研全職員に配布することについて、教授会の承認を得て欲しい旨要請されたとの報告があり、種々意見交換の結果、これを了承した。
- ② 構成員の教授（部局遺伝子組換え実験安全主任者）から、遺伝子組換え実験計画申請書の作成については、正確に作成するよう依頼しているが、なお不備が見受けられるので、今後各研究分野で2重チェックを行ったうえ提出願いたいとの要請があった。
- ③ 構成員の教授（所長選挙管理委員会委員長）から、第1次、2次所長選挙での投票依頼があった。
- ④ 構成員の教授（共通機器管理室主任）から、第2回共通機器運営委員会で次のことを決定したとの報告があった。
 - ・光投射型断層撮影装置（OPT スキャナー）のソフトウェアを購入していないので、現在使用できないが、早い時期に購入することとしたこと。
 - ・今年度の共通機器の使用料金は、原則的に翌年度の当初に徴収することとし、支払いは運営費交付金と奨学寄附金とするが、科学研究費補助金での支払いを希望する場合は、個別に対応することとしたこと。
- ⑤ 構成員の教授から、追加資料により、3月11日（水）に開催予定の加齢医学研究所シンポジウム平成20年度ゲノムリサーチセンター・ワークショップ「癌と老化を乗り越えるための DNA 修復の科学」（案）への参加案内があった。
- ⑥ 議長から、次回教授会は2月12日（木）に良陵会館で開催予定であるが、当日医学系研究科委員会が開催されるので、開催時間を午後3時40分からに変更するとの報告があった。

以上